「新しい認知症観」って？

「新しい認知症観」とは、認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという考え方です

認知症のこと 少しでも知ってみよう 誰もが認知症になる時代だから

私たちが伝えたいこと

私は認知症になってから17年が経ちますが、毎日元気に過ごしています。いろんな人に支えられて、いろんなところに出かけています。認知症の皆さん！堂々と社会参加しましょう。正々堂々と楽しく生きましょう。

70代 男性

50代 女性

認知症と診断されたときは落ち込みました。でも、今も笑顔でおしゃべりすることが大好きです。
他の認知症の方のために何かできることをやっていきたいと思っています。
認知症のことをもっとみんなに知ってほしいです。

20代 女性

私のお父さんは認知症になったけど、何もできないわけじゃない。お父さんのできることを取り上げないでほしい。
何でもすぐに忘れちゃうけど、忘れたら何度でも教えてあげたらいい。紙に書いてあげるとか、その人にあった方法を見つけたらいい。

50代 男性

認知症になって落ち込みましたが、今は、もっといろんな人に認知症のことを知ってもらうために、自分ができることをやっていきたいと思っています。

私は認知症だと初対面の人に必ず伝えるようにしています。そうすることで、会話が噛み合わなくても一緒に笑ってすみます。
みなさん普通に接してくれて、気がけて声をかけてくれ、良いことばかりです。
誰とでも話ができて、笑いあえることが一番の幸せです。

70代 女性

発行元：長崎県長寿社会課　令和8年3月発行

認知症を
学んでみませんか

お住まいの地域の自治体等では

認知症サポーター養成講座 を行っています

あなたも認知症を正しく理解し、認知症に対する誤解や偏見を解消し、認知症の人や家族を応援する「認知症サポーター」になりませんか？

認知症サポーターとは、何か特別なことをする人ではありません。

認知症の人やその家族の応援者です。

興味のある方は、お住まいの地域の自治体や地域包括支援センターへお尋ねください。

県内の地域包括支援センターの
詳しい情報はこちら

長崎県　地域包括支援センター　検索

認知症サポーターキャラバンマスコットキャラクター
ロバ隊長

発行元：長崎県長寿社会課　令和8年3月発行